



ラボの紹介

明治学院大学



【本事業の実施主体】東京都子供政策連携室企画調整部

【お問い合わせ窓口】アデコ株式会社 電話番号 050-4560-7557(受付時間:平日9時~17時30分)

メールアドレス ade.jp.kodomomanabi@jp.adecco.com

※本事業は東京都より委託を受けアデコ株式会社が運営しています。



1. 調査研究の概要



テーマ

社会力の育成を通して、キャリア意識を向上させる活動
—大学生と関わり、共感能力を高め、自己理解を深める—

検証内容

社会力(社会を作り、運営し、絶えず作り変える力)の育成につながる活動を大学生パートナーとともに実施し、子どもの「キャリア意識」がどのように変化するかを検証

活動概要

対象

小学5年生～中学3年生

実施時期

R7年10月～12月(8回)

主な実施場所

大学

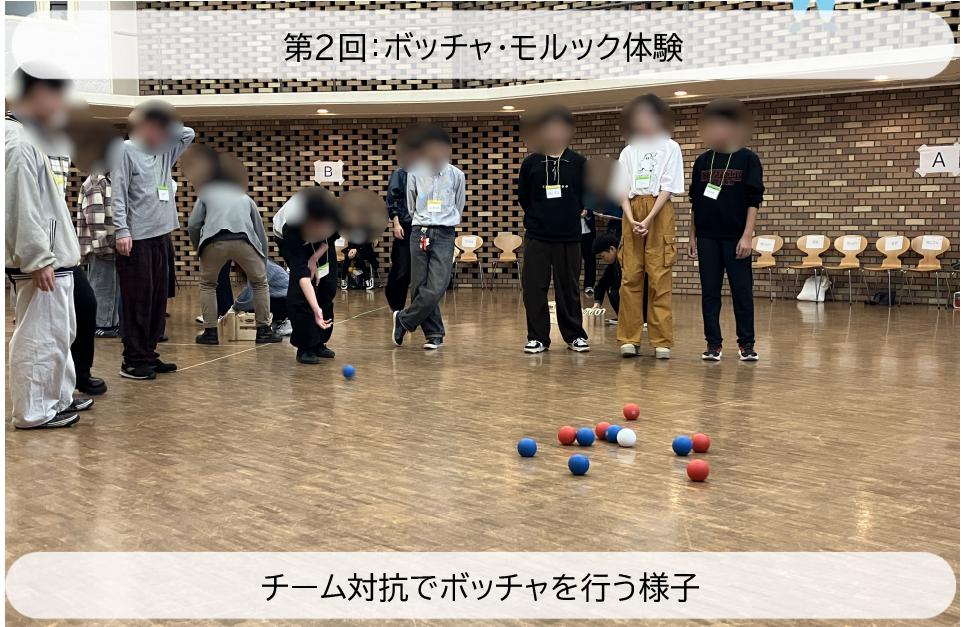
活動内容

大学生と一緒に、多様な他者と出会い、自分の気持ちと向き合うなど、社会力育成とキャリア意識向上につながる活動を実施

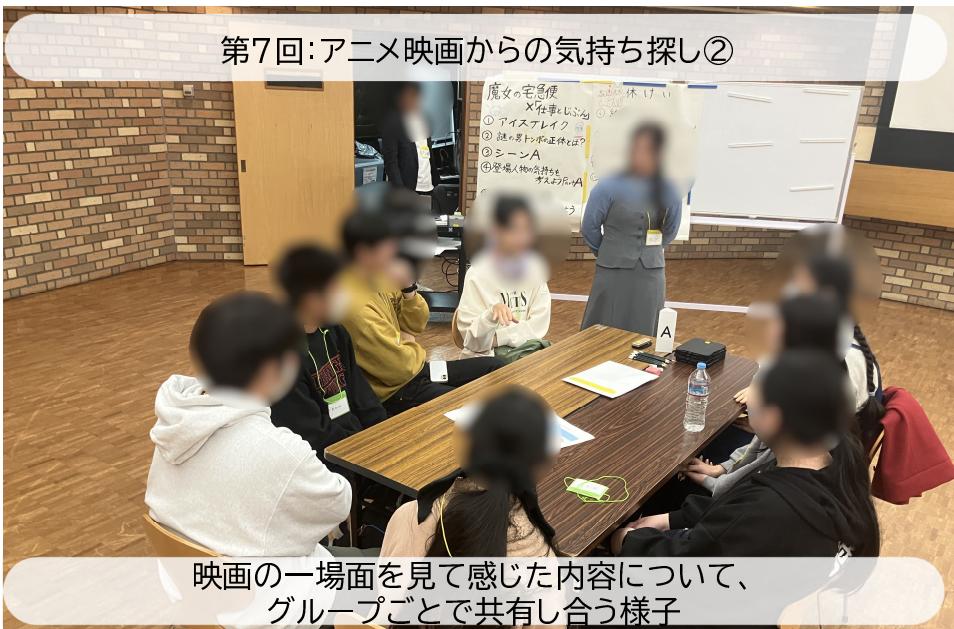
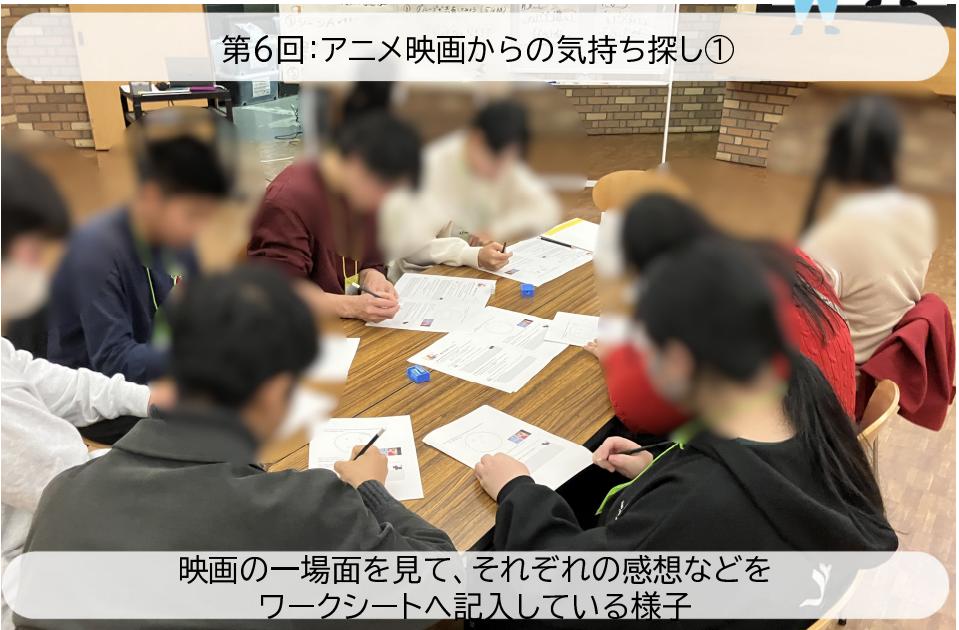
活動内容

第1回	大学生のことを知ろう①	大学生の発表を聞き、大学生活の楽しさを知る
第2回	ボッチャ・モルック体験	大学生と一緒に、チーム対抗で遊ぶ
第3回	共創ゲーム	大学生と一緒にゲームのお題などを考え、実施する
第4回	他者紹介動画作成	大学生にインタビューをして、紹介動画を作成する
第5回	多様な他者との出会い	多様な他者と触れ合い、他者理解を深める
第6回	アニメ映画からの気持ち探し①	映画の特定のシーンを見ながら、それぞれが感じたことなどを言語化する
第7回	アニメ映画からの気持ち探し②	映画の特定のシーンを見ながら、それぞれが感じたことなどを言語化する
第8回	大学生のことを知ろう②	大学生の発表を聞き、専門分野や進路について知る

2. 調査研究活動の様子(1)



2. 調査研究活動の様子(2)



3. 調査研究活動の関係者の声



参加児童生徒の声

- 活動で行ったゲームの中で、成功した際に大学生とグータッチを交わすことができ、楽しい思い出として印象に残った。
- 以前は人前で話すことに苦手意識があったが、活動前と比較するとその意識が少し薄れた。
- 活動を通して、以前より自分の考えを言葉で表すことがスムーズになった。

協力フリースクールスタッフの声

- これまで周囲の人と話すことが難しかった子供たちが、活動の中で年上の大学生と関わる機会を持てたことは、今後の成長に向けて大きなきっかけになった。
- 自己表現に消極的な子供たちも、他者の発表には自ら質問する姿が見られたことから、フリースクールの活動にも同様の工夫が有効に働くのではないか。
- 毎回異なる活動を行うプログラムであったからこそ、次の活動を楽しみにする様子が子供たちから見られ、全体として明るい話題が増えた。

ラボメンバーの声

- 毎回の子供たちからのアンケートでは、活動を共にした大学生から話しかけてもらえたことや、ヒント・アドバイスをもらえたことが嬉しかったという声が多く挙がっていた。
- 活動を共にした大学生が居心地の良い空間づくりをしていた。そのような空間を作ることが、安心して子供たち自身が興味関心を広げ、深めるために重要だと感じた。
- 日頃のフリースクールでの活動でも、遊び方を少し変えたりアイデアを加えることで、より多様な活動が展開できるのではないか。